

生徒の本気を支え、連携・発信する学校**本気プロジェクトの推進**

・小中連携，中高連携，保護者や地域との連携の強化を図るとともに、生徒の良さや学校の良さを積極的に発信していく中で、保護者や地域に支えられる学校づくりに取り組む。

本気プロジェクトグループ

学校の良さを積極的発信・小中連携推進に向けた基盤づくり

- ①「学校だより」の発行年間計画、学校ホームページの定期的更新計画を作成し、情報発信の充実を図る。また、ホームページの構成を整理し、学校の考えや様子がより分かりやすいものとする。
- ②校内研究（授業改善）との関連を将来的に見据え、小学校、高等学校、地域との連携内容の整理，調整を中心に取り組んでいく。具体として、小学校地区研究会，愛川高校公開授業への参加，本校校内研究への高峰，中津二小，愛川高の参加等の調整を行う。
- ③小学校や地域行事の情報収集、生徒ボランティア参加等に向けた校内への情報発信等の充実、参加促進等を図る。また「元気・根気・やる気・本気」カードの活用促進を図る。
- ④中学校区の小学校と連携して生徒の安全確保に向けた各種活動の充実を図る。
※27年度に引き続き3校合同引き渡し訓練の検討及び3校間の調整を行う。
- ⑤PTAや地域との連携を図り、地域から見て、ともすると困った存在の中学生から、地域で頼れる中学生への工夫を考える。そのために地域行事や生徒ボランティア参加に向けた情報収集と生徒への情報発信や参加促進を図る。
※「学校・家庭・地域連絡協議会」は中学校区として3校合同開催の取り組みとする。引き続き、学校の良さ，生徒の良さを発信と地域との良いつながりといった視点をに会議のねらいとする。
※保護者，地域関係者等との日常のふれあい（挨拶，相手の立場に立った対応等）の中で教職員の頑張りや良さを意図的に発信していく。